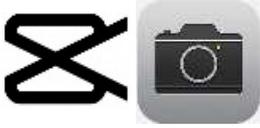


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森聾	学校			
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input checked="" type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()					
	単元(題材)名	表現リズム遊び・表現運動(リズムダンス)「リズムに乗って踊ろう」					
	単元(題材)の目標	(1) リズムダンスの踊り方を知るとともに、即興的に踊って遊んだり、軽快なリズムに乗って全身で踊ったりすることができるようにする。 (2) よい動きや自己の能力に適した課題を見つけ、リズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (3) 表現リズム遊び及びリズムダンスに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。					
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	2, 3, 5	年	4	人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害があるため、曲のみを聴いて曲調を捉えたり、リズムを感じたりすることが困難である。 ・体を動かすこと、踊ったりすることは好きで、教師や映像の動きを模倣したり、拍を取るなどの合図を見たりすることで踊ることができる。 					
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、プロジェクター又はテレビ、タッチスクリーン、iRig2					
	使用したアプリケーションの名称	CapCut、カメラ					
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援					
I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の動画に字幕(歌詞及びリズム)を付けることで、曲のイメージをもったり、リズムを感じ取ったりする。 ・児童が考えた振り付けを写真に撮り、曲の動画に貼り付けることで、自分たちで作上げた実感をもつ。 ・児童が考えた振り付けや、練習の動画を撮影して見せることで、振り付けを決めたり、よさや課題、修正点等を見つけ、話し合ったりしてよりよい振り付けにする。 						
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・動画に字幕で歌詞やリズムを付けたことで、視覚的に曲のイメージをもって振り付けを考えたり、「ウンタ」と言いながらリズムに合わせて踊ろうとしたりすることができた。 ・曲の動画を8拍ごとに画像で示したことで、どのような振り付けにするか考えることができた。また、考えた振り付けを写真に撮って示したことで、どの部分でそれをやるか話し合っ決めていくことができた。それらを動画に貼り付けたことで、「自分たちで考えた」という実感をもつことができた。 ・練習の動画を撮影して見せたことで、よさや課題、修正点等を見つけて話し合い、よりよい振り付けを考えようとする様子が見られた。 						

